

キャンプファイヤー

概 要	キャンプファイヤーは野外活動の中で最も印象に残るものであり、思い出となるものである。したがって、その内容やねらいをどのように扱うかがポイントとなる。	
ねらいとして考えられること	<ul style="list-style-type: none"> ①レクリエーションを取り入れることで親睦を図る。 ②役割分担し準備することで、人間関係を深める。 ③自然に親しむとともに、自然について考える。 	
対象学年	小学校中学年から	
人 数	別紙参照	
場 所	ファイヤーサークル、キャンプ場グラウンド、スポーツグラウンド	
時 間	2時間～2時間30分(レクリエーション含む)	
指 導 員	自主活動	
活動時期	6月～10月	
経 費	キャンプファイヤー用薪1セット 4,000円(持込可)	
事前に準備するもの	トーチ4本、活動シナリオ(必ずリハーサルをしておく)、音響機器、音楽等	
引率者の役割	活動前	<ul style="list-style-type: none"> ①指導員と所要時間と指導内容を確認する。 ②トイレに行かせる。 ③5分前までに所定場所に整列させ、人員確認する。 ④活動内容や注意事項を知らせる。
	活動中	・無駄話やいたずらなど進行の妨げになる言動があれば、適宜注意する。
	活動後	<ul style="list-style-type: none"> ①所定の場所に整列させ、人員確認する。 ②ふりかえりをする。 ③貸出用具があれば返却する。 ④火の始末を確実にを行う。
安全上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・炎のそばに行かせない、火遊びさせない、火の粉に注意する。 ・指導員の指示に従う 	
その他		